徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会第2回会議

| | 議題 | | | 題 | 徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザルにおける最高得点者の 決定 |
|-----|---------------------|----------|-------|----|--|
| | 開 | 催 | 目 | 時 | 令和4年10月5日(水曜日) 8時40分 |
| 会議の | 会 | | | 場 | 周南市役所本庁舎 多目的室 |
| | 傍聴 方法 | 者の定員 | 員及び | 決定 | |
| 公表 | 公開 の別 | ・非公開 | ・部分 | 公開 | □公 開 ■非公開 □部分公開 |
| | 非公開又は部分公開の ときの理由 | | | | 徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会設置要綱第 5条第3項の規定により非公開とした |
| | そ | の |) | 他 | |
| | 出 | 委 | | 員 | 評価委員6名 |
| 会議 | 席 | その他 | | | 参加表明者 2者 |
| | 状 | 要と認 | | | (憩い賑わい創出共同企業体、周南ツナガルコンソーシアム) |
| 録 | 況 | 事 | 務 | 局 | 周南市都市整備部公共交通対策課 |
| 0 | νL | 傍 聴 | 者人 | 、数 | |
| 公表 | | 等経過及議録を必 | | | 徳山駅周辺官民連携管理運営事業プロポーザル評価委員会第2回会議議事概要 |
| | | は、その | | | 成 f 190.久 |
| | | い理由) | / Д С | | 1 開会 |
| | | | | | 「事務局」 開会を宣言 |
| | | | | | |
| | | | | | 2 議事 1 |
| | | | | | 1 |
| | | | | | [事務局] 説明 |
| | | | | | [委員一同] 質疑なし |
| | | | | | 1次評価について異議なし |
| | | | | | 1次川岡に ジャ く光成な ひ |
| | | | | | (2)ヒアリング実施要領の確認 |
| | | | | | (2) とグラグラス地安保の唯能 [事務局] 説明 |
| | | | | | 「委員長」ヒアリング時の追加補足資料について、ヒアリング終了後、 |
| | | | | | 説明者が持ち帰ることを可としているということだが、後か |
| | | | | | ら我々が資料を見て審議する可能性があるか。 |
| | | | | | 「事務局]本日追加される資料はあくまでも補足であり、ヒアリングは、 |
| | | | | | 「一一」「「一」」 |
| | | | | | 立するはずである。 |
| | | | | | |
| | | | | | 【安貝文】 承知 した。 |
| | | | | | 3 ヒアリング |
| | | | | | |
| | | | | | (A者入室、準備) 「事務局]説明時間、質疑応答時間等について説明 |
| | | | | | 【事務何」説明时间、負疑心合时间寺に"フいく説明 |
| | | | | | (レマリンガ明仏) |
| | | | | | (ヒアリング開始) |
| | | | | | [A者] 企画提案について説明 (新足内体) |
| | | | | | (質疑応答) 「香品」 コンストンマンカタリ では草とれているが、 じのとる かんかぶ |
| | | | | | [委員] コンソーシアムを組んで応募されているが、どのような企業が |
| | | | | | コンソーシアムに入って業務をされるか教えてほしい。主な業 |
| | | | | | 務を教えてほしい。 |

- [A者] 地元のビルメンテナンス会社と植栽を管理する地元の会社が地元関連企業として入っている。 駐車場管理については、全国ネットの会社が入っている。 代表企業として、ビルメンテナンス、商業施設の管理、賑わいの創出等も担っている私どもが入っている。合計4社である。
- [委員] 包括的な業務委託だが、賑わいの創出も目的としている。公園、駅北口広場、南北自由通路等を一括して管理をお願いしようとしているが、南北自由通路や北口広場の利用方法、その辺の考えを聞かせてほしい。
- [A者] 市の要望として、今までの業務をそのまま一括で発注することだけでなく、市の中心市街地活性化を事業の目玉にして発注されたのではないかと考えた。今まで各窓口が担当課に分かれていたものを、より市民に活用していただきやすい体制を作り、駅前広場だけでなく公園等も活用していただける、イベント等も気軽に参加、計画していただける体制を作ろうと思っている。自主事業として、他の都市等で実施実績のある事業を提案しており、そこから市を盛り上げていける体制を作ればいいと思っている。
- [委員] 管理をする側の体制は。その中で、常勤、あるいは非常勤はどれくらいか。 また、赴任される方の経験、経験者が常勤として赴任されるのか、あるいは新しく採用するのかというような事務所の体制、それと市との連携をどういう体制、どういうタイミングでというイメージがあれば説明いただきたい。
- [A者] 受付窓口業務の統括マネジメント業務の担当を事務所に常駐させる。 今までは、申請がしづらいというニーズもあったので、皆に分かりやすいやり方で努めたい。 市を中心に民間との連絡会があるのも聞いており、その場にはマネジメントの責任者か担当者が必ず出席し、市の意向も理解した上で事業を進めるよう努力したい。
- [委員] 駐車場の管理業務を広くされているが、いろんな地域で成功事例とか失敗事例も含めていろんなデータが蓄積されていると思う。そういうデータ分析から見て、市でこういうイベントをやれば効果があるとか、統計的に何かあるか。
- [A者] 各駐車場を分析したところ、立体駐車場については稼働率がかなり高い。例えば稼働を分析しながら売上げ増を図りたい。
- [委員] 目標設定の中で、自主事業のイベントによってどのような賑わい創出の効果を期待しているのか、詳しく教えてほしい。
- [A者] 目標は必ず達成しないといけないので、低めに設定している。 まずは、既存の団体の状況を見て、自主事業がどこに入れられ るかも考えながらと思っている。
- [委員] 市の行政にフィードバックできるようなDXの提案はあるか。 例えばwebアンケートが指定管理者の手を離れた時にでも行政 が活用できるような形になっていくのか、5年間の中でフィード バックできるような可能性はあるか。
- [A者] 駐車場については、アンケートを自治体に提案するのは常にできる状態を作っている。市民の声として、フィードバックを常にしている。フィードバック方法はこれから協議していく形になるが、色んな話題についてのアンケートを駐車場利用者、または公園利用者、この辺は代表企業と連携しながら考えたい。
- [委員]連携する仕組みの中に公立大学化した周南公立大学との連携が ない。あるいは大学生をイベントに活用するとか、若者世代向

け、コンビナート企業にも雇用者がいる。今の連携の提案だけ では不十分な気がする。拡大する余地があるのか。

[A者] 大学連携について、他市で大学と連携させていただいた。市と 一緒に相談してできればということも考えられる。

[事務局] 時間になったので、A者のヒアリングを終了する。 (A者退室)

(B者入室、準備)

「事務局」説明時間、質疑応答時間等について説明

(ヒアリング開始)

[B者] 企画提案について説明

(質疑応答)

- [委員]業務実施体制について、どのぐらい相手方と詰めた議論をされているか。挙げている団体と繋がることができる担保はどうなのか。
- [B者] 既に記載のある地元の企業、団体と積極的なコミュニケーションをとっている。事業が来年の4月から始まったとして、しっかりと連携を図りながら、やれるという採算はもっている。
- [委員] 事前にヒアリングして、事業をやるとしたらこういう連携ができると確認をとったかどうかを知りたい。
- [B者] 今現在、十分にヒアリングができているかに関しては、全てが十分ではない。今後、ヒアリングを重ねていきながら市民サービスの価値の向上につながることを進めていきたい。
- [委員] 本部体制を整えるのに職員を採用するとあるが、新規採用するのであれば経験がある人を採用するのか、業務経験が長い方がどのくらいいるのか、採用された人をどのように育てるのかなどの具体的な今後の考え方。それと目標をしっかり立てておられるが、例えばイベント件数、どうやるのかよく分からないので聞きたい。また、どうやって集客するのか。

目標を立てたら絶対にやらなければいけないので、PDCAの体制を含め、今の段階でどのくらい具体性があるかを聞きたい。

[B者] 駐車場に関する人員体制は、全国各地の指定管理の経験があるので、担当社員などによって研修を行い、スタッフプラス担当社員という体制で運営する。採用不採用の基準があるので、実績をもとに運用運営体制を構築していく。

指定管理その2についても、駐車場同様、コンソーシアムの理 念等に共感共鳴してもらえる人を、地元採用を優先にしたいと 思っている。

また、公園の知識等、管理の知識等についても全国に指定管理施設があり、そのノウハウも活用して運営体制を構築したい。 窓口業務等についても、人選、研修をした上で行いたい。

目標の数値については、イベント件数、参加者数ともに、令和3年度のイベント開催実績を基に算出している。利用件数についても実績を含めて目標を設定しており、根拠は過去の実績を踏まえている。運営の実施体制については、単体の運営ではなく、地域と一緒に、既に行われているイベントを含めて運営するという位置づけでのイベント件数を設定している。

集客もSNS等を活用し、実績を加味して設定している。

- 「委員〕令和3年度の実績といわれたが、誰の実績か。
- [B者] 今回の対象施設で開催されているイベント件数である。
- [委員]自主的にプラスして何かやるという提案ではないということか。
- [B者] 既にかかわっているイベントが何件かあるので、実績として行

っている件数を踏まえて設定した。

- [委員] 現状維持という目標ということでよいか。
- [B者] 令和3年度の実績は提案件数を満たしていない。既に公園等を使って行われている企画に対し、我々のノウハウを掛け合わせで行うことで、さらなる集客の最大化、あとはイベント企画に文化の醸成、継承をしっかりと地元と行いたい。

まずは基本的な部分として、既に行われているイベントを大事にしつつ、そこから新たな新規のイベントと考えている。

- [委員] 公の施設管理のため、利益という絶対的な量的な成果の指標がなく、業務を改善していくときにモニタリングが非常に重要。 提案ではアンケートだけでなく、いろんな情報共有を意識されているが、マイナス情報も含めて上がってくるかどうかが管理者としては難しい部分と思う。今までの経験を踏まえて、情報の取り方に課題はあるか。
- [B者] 駐車場に関して、公営施設の管理運営の実績があり、施設ごとでモニタリング、アンケートの収集は行っている。収集方法としては紙ベースもwebを使ったアンケートもあり集計を取っている。対面よりネット上の方が悪い話が上げやすいというところもあり、今後も活用する。悪い話も全員に共有化して、真摯に対応する。対応結果もお客様に通知できる場合は通知する。今後もそういった情報収集を行い、改善に努めたい。
- [委員] 駐車場の増収について論拠は何か。こういうふうに増収できる というノウハウとかがないと納得できない。
- [B者] 増収の根拠は、公共施設として誰もが安心安全で快適に利用できる管理運営を実施するために必要な経費を見込んで算出している。

収入部分に関しては、周南市にかかわらず、全国での駐車場のここ数年のコロナウイルスの状況の売り上げ、回復状況等のデータを集めた上で収支予測を取っている。開示されたこちらの駐車場の情報も含め、また全国的なデータも含めて収支予測をたている。

またコロナ禍の状況や今後の見通しに加え、今回の連携、イベント開催等、徳山駅周辺の再開発事業を含めて、今後の周辺状況変化も加味した予測としている。

- [委員] 令和3年度で要求水準書、仕様書の中で、納付額が1800万円くらいという見立てがあり、納付額が増加すれば印象が非常によくなるが、実現させていく具体的な手段があるか聞きたい。
- [B者] 一つは、駅西駐車場が加わり、サービスの共通化を今年の4月から実施されているが、そういうサービスの提供ができることでの収入増を見込みで入れている。また今回、駅前広場などと施設が一体となって運営していくことで、イベント等での集客を駐車場の方でも実施する。イベント情報の告知、報告以外でも、駐車場の集客を図る販促活動を実施し、駐車場自体の利用台数を増やすことももちろん、イベント情報の案内も同時に行うことができる。駐車場きっかけ、イベントきっかけでの集客が図れると考えている。

またコロナの状況も数年前に比べると状況は上向きになってきており、それらを加味しながら、収入の方は間違いなく増え、今回提案している納付額が納付できると考え、数字の設定、計画を立てている。

[委員] 毎年収入額が上がっているが、アッパーがどこを見られているのか。これから5年後に増えると見られるのかどうなのかという考えを聞かせてほしい。

- [B者] まださらに伸びていくのではないかと考えてはいる。再開発と の連携がとれることにより、5年後も伸びていく可能性があると 考えている。
- [委員] 施設の運営コンセプトは「自分らしさとツナガル施設」だが、 今回いろんな施設の利用受付も入り、どこでどんなイベントが いつあるかという情報が分かる。イベントの開催等に合わせて 清掃、維持管理、そういったものが連携してできると思うが、 具体的にどういう形で進めていくか、検討されていることがあ ったら教えてほしい。
- [B者] コンセプトについては、市民一人一人の居場所になるようなという思いを強く持ち、提案している。 イベント等に合わせての清掃等に関しては、これから清掃業者とも話し合い等を進める。既に繋がっている業者もいるので、十分に検討して進めている。 また、清掃活動に関しても、地域との連携によって、自分の地元、自分の好きな場所は自分たちできれいにしようという清掃活動も積極的に発信し、一緒に行いたい。業者だけではなく、
- [委員] 今回の委託は、指定管理を含めて今まで行っていた業務委託を 包括的にお願いする形になっている。今までの業務委託であれ ば、指定回数や時期等を指定する段取りになっていた。今回、 包括的な業務委託ということで、民間のノウハウや柔軟な発想 を期待している。その観点から街路樹や公園の維持管理をどう いう方法で管理するという考えがあれば説明してほしい。

市民も参加できるような形で行いたい。

[B者] この事業に限らず、職員の技能の更なる向上、作業に当たっての設備の更なる効率化により生産性を高めていくのが大前提。施設を横断した業務というのは、経費削減、効率の良い仕事をするにあたって、必ず効果があると思っているし、コンソーシアムなので、例えば今まで1社が見ていたものが、3者で管理することにより、細かい安全性等の確認もできるようになり、対応も迅速にできるようになると思っている。

包括的な業務委託になり、今までは断片的に切り取られていた施設が一体的な管理になるので、職員が自分の管理する業務委託における施設だけではなく、全体でみて、管理をしていこうという意識が高まり、コンソーシアム全体で行っていきたい。

[事務局] 時間になったので、B者のヒアリングを終了する。 (B者退室)

4 審査

(事務局による集計)

5 議事2

(3)最高得点者の決定

[事務局] 集計の結果、B者の得点が高いことを報告

[委員長] 報告を踏まえ、B者を最高得点者とし、市長に報告することでよいか。

[委員一同] 異議なし

(4) 今後のスケジュール

[事務局] 説明

[委員長]確認だが、個別の点数は公表しないのか。

[事務局] 合計点を公表する予定である。

| | 6 | 挨拶 |
|--|---|----|
| | 7 | 閉会 |